

スポーツで『インクルーシブ“まちづくり”』



狛江のスポーツサークル活動情報を一元化
世代／国籍／障がいの有無を越えた交流機会の創出
本当の意味で“だれでも” スポーツが楽しめる環境づくり

①タイトル

こまえスポーツコミュニティ

②なぜその提案(できること・取り組みたいこと)を思いついたか

- ・私自身がスポーツ／運動機会の創出を仕事としているため
- ・スポーツに興味があっても、どこでできるのか情報が少ないとこと
- ・情報があったとしても、活動拠点となる施設ごとに調べる必要があること
- ・世代／国籍の違う地域住民や、障がいのある方と関わる機会が極端に少ないとこと
- ・スポーツは世界の共通言語で、誰とでもコミュニケーションを図れるツールであること
- ・運動習慣の定着は、心身の健康に多大なる影響を与えること

③その提案を実践することで地域がどのようになればよいと思うか

- ・チームやサークルなどの『クローズドなコミュニティ』だけでなく、『オープンなコミュニティ』があることで、スポーツ活動への参画の心理的な障壁を取り除くことを目指す。
- ・インクルーシブスポーツを推進することで、身体を動かすことに苦手意識がある人でも楽しめるスポーツがあることを知ってもらい、社会参加へのキッカケを探している人たちの一助となりたい。